

全日本カッター競技大会

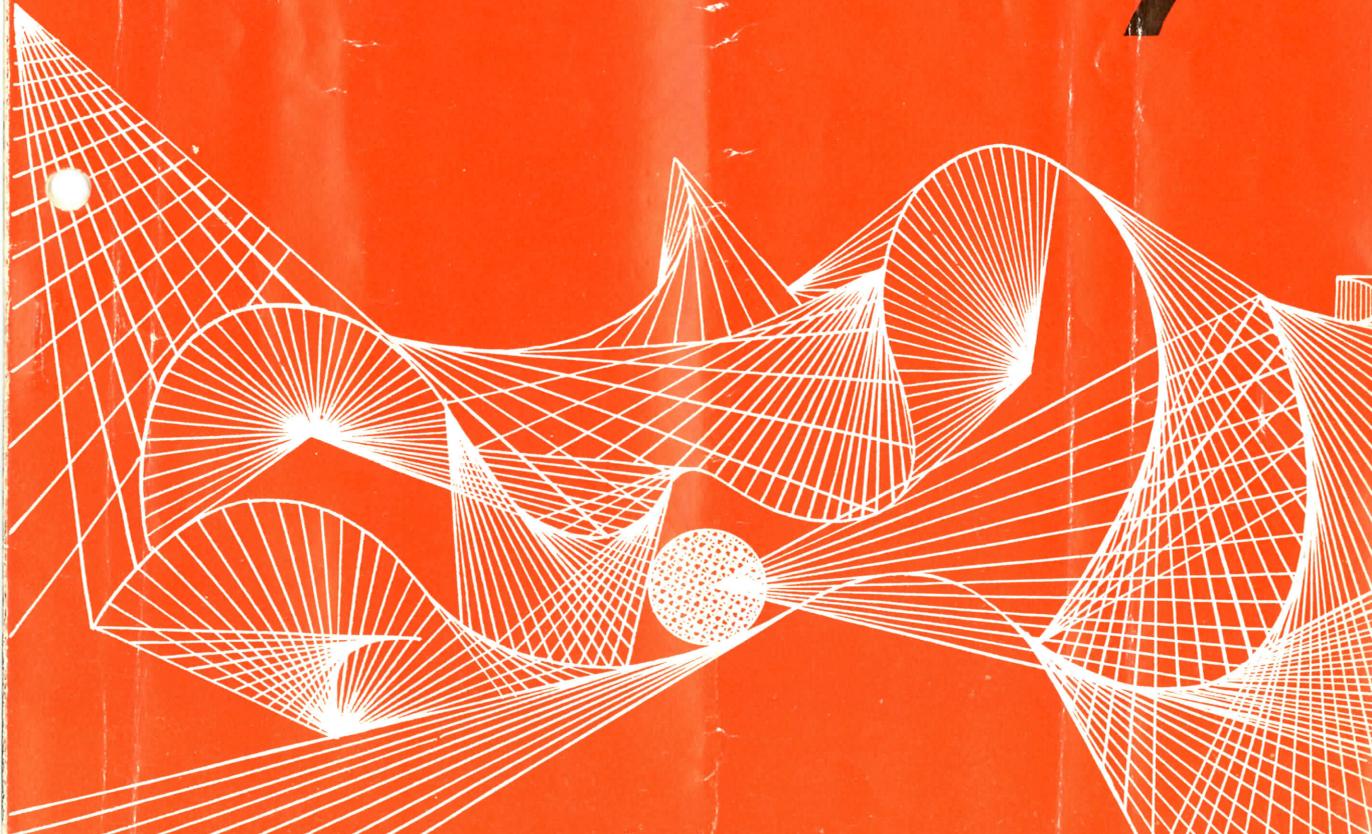
'63 5, 19th 0900 ところ 海上保安大学校

主催 全日本カッター連盟

後援 呉市・広島県・毎日新聞・スポーツニッポン

協賛 ラジオ中国・広島テレビ・海上保安協会

7



営 業 種 目

各種船舶艦艇の設計、建造、修理
橋梁、鉄骨、水門扉、水圧鉄管、塔槽
溶鋼鍋、各種バケット類、立体駐車装置
具ボイラ、建設機械、製鉄機械、石油セメント
および化学プラント、パルプ、食品プラントその他



取締役社長 正 木 武 雄
常務取締役 中 西 為 義

東京本社 東京都千代田区丸ノ内1丁目1番地 第一鉄鋼ビル内
電話東京201-0381番(代表)

吳造船所 呉市昭和通2丁目1番地
電話 呉 2-1261番(大代表)

大阪事務所 大阪市東区安土町4丁目5番地 東光ビル内
電話大阪261-9131番(代表)

名古屋営業所 名古屋市中村区広小路西通3丁目2番地 大商ビル内
電話名古屋 57-5337番(代表)

九州営業所 北九州市小倉区京町5丁目179番地 O. N. O ビル内
電話 小倉 52-8715番

新宮工場 呉市光町3番地 電話 呉 2-7590番

第七回全日本カッター競技大会

主 催 全日本カッター連盟

主 管 海上保安大学校

後 援 呉 市

広島 県

毎日新聞社

スポーツニッポン新聞社

協 賛 ラジオ中国

広島テレビ

海上保安協会

日 時 昭和38年5月19日（日曜日）

午前9時から午後3時半まで

会 場 呉市若葉町

海上保安大学校

第七回全日本カッター競技大会を迎えて

海上保安大学校長 竹 田 田 作

若人の血潮を湧かす、薫風緑樹の好季節に、数多い海の大学生の中から選ばれた、200余名の精鋭が、海上保安大学校海域に集い、雌雄を決する豪快な、カッターレースが行われることとなりました。

私共当番校にとっては、非常な喜びと榮与でありまして、選手諸君を心から歓迎する次第であります。けれども準備万端、不行きとどきの点もあろうかと存じますが、御容赦を、お願いいたします。

神秘的な生命が、海から登場したために、私共は遠い昔の海水を血液の形で引継いでいると言われてます。従って人間は誰もが海を好みます。諸君が海上の職務を選び、海事大学に入学したのも諸君の血潮が^叫呼んだに違いありません、その諸君が人類起源の海上での競技、きっと血湧き肉躍るの決戦が展開されることと思います。

昔から『海を制するものは、世界を制する。』との旗印の下に、孜々として海事国家を建設した英国の海事図書館の入口に「ストライプ・エンド・エンデュアー」の標語が掲げられています。幾百年の間に、幾百万の人々がこの標語を仰ぎ見て、精神の糧とし、これによって立派な英国海員がつくり上げられたのであります。シーマンシップは、ゼントルマンシップと共に尊敬されています。カッター訓練もシーマンシップをつくり上げる基礎であり、今日の競技もシーマンシップで行われんことを希います。本年の競技は少くとも昨年よりは進歩改善され、来年度は更によりよき競技、記録の礎となる競技であって欲しいと念願する次第であります。

私も生れ落ちた時から三河湾の潮風を息吹いて育ち縁あって海の職業に従事し続けました。それだけに同志の諸君に限りなき親みと愛情が自然に湧きでてくるのであります。諸君の全員に心からなる声援を惜しみません。勝敗利鈍は運命の女神に委せて、この競技に全精力を傾け尽されんことを望みます。新しい若い精力の泉は、更に倍加して強く湧き出づることを信じて疑わないものであります。

大 会 役 員

会 長	海上保安大学校 校 長	竹 田 田	作
副 会 長	海上保安大学校 教 頭	斉 木	功
	海上保安大学校 事務局長	金 子 鉄	義
審 判 長	海上保安大学校 訓練部長	山 口 敏	秀
役 員	海 技 大 学 校	片 上 圭 四	郎
	鹿 児 島 大 学	皆 元	国
	神 戸 商 船 大 学	杉 浦 昭	典
	水 産 大 学 校	橋 本 市	雄
	東 京 商 船 大 学	中 島 保	司
	東 京 水 産 大 学	佐 々 木 幸	康
	長 崎 大 学	麻 生 幸	則
	日 本 大 学	添 田 秀	男
	防 衛 大 学 校	八 卷 悌	次
	三 重 県 立 大 学	細 川 鉄	男
	海 上 保 安 大 学 校	大 山 雅	清

大 会 委 員

委 員 長	足 立 有 功	進 行 中	谷 一 郎
総 務 会 計	加 藤 憲 治	警 戒 保 安	織 田 賢 二
	田 島 邦 雄	宿 泊	中 谷 一 郎
渉 外 広 報	田 坂 良 一		北 村 敬 介
	茅 島 俊 介	給 食	今 井 孝 至
会 場	陶 山 高 志	医 務 衛 生	徳 野 勤
接 待	成 田 重 人	出 発 決 勝	佐 々 木 忠
配 船	磯 道 周 作		武 井 立
競 技 場	則 包 辰 男	記 録	吉 田 良 一 治

出 漕 ク ル

海 技 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧問	片上圭四郎					
艇指揮	○ 中尾益三	本 E・1	164	65	鳥羽商船	(三重)
艇長	◎ 丸山泰敏	本 E・2	172	60	鳥羽商船	(三重)
1	坂本泰昌	本 E・1	165	61	広島商船	(広島)
2	高木俊雄	甲1 E	170	58	弓削商船	(愛媛)
3	井谷勝雄	甲長 E	170	65	弓削商船	(愛媛)
4	地場章悟	本 N・1	162	65	富海山技	(富山)
5	矢田地武彰	本 N・1	162	67	広島商船	(兵庫)
6	池田武哲	本 N・2	162	62	広島商船	(広島)
7	藤田善一	本 E・1	172	65	大島商船	(山口)
8	柴田善隆	本 E・2	170	58	大島商船	(広島)
9	藤原剛	本 E・1	165	62	弓削商船	(愛媛)
10	丸野見	本 E・2	172	62	安海房水	(千葉)
11	浅野村潔	本 N・1	159	65	海技羽山	(兵庫)
12	西村泰弘	本 E・2	165	55	鳥羽富山	(富山)
補	舟辺泰吾	甲2 N	173	80	鳥羽富山	(富山)
々	小野寺榮	甲2 N	170	70	気仙沼水	(宮城)
々	田文彦	本 E・1	170	60	鳥羽商船	(三重)
々	扇谷明光	本 E・1	163	63	海技甲	(兵庫)

(註) ◎印は主将 ○印はマネージャー 以下全

鹿 兒 島 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧問	皆元国					
艇指揮	大平雄博	漁・3	165	55	田川高	(福岡)
艇長	小森田浩至	漁・3	160	50	済々高	(熊本)
1	村中義美	経・3	162	63	八舞代	(熊本)
2	並野清司	漁・3	168	62	国府鶴	(大分)
3	平野隆	漁・3	168	60	国府台	(千葉)
4	神田行潔	漁・3	173	67	大野宮	(宮崎)
5	池田行敏	経・2	170	60	小野田	(山口)
6	松田行敏	製・2	173	68	加治木	(鹿児島)
7	浅井邦宏	漁・3	175	68	一宮	(愛知)
8	◎ 進藤重	漁・3	172	68	唐津東	(佐賀)
9	和松重孝	漁・3	163	58	指宿	(鹿児島)
10	加藤宏文	製・3	170	63	根子東	(鳥取)
11	山本剛二	製・3	168	65	根雨	(鳥取)
12	○ 小川敏之	製・2	171	60	下関西	(山口)
補	渡辺知彦	製・3	165	60	福山華陽	(広島)
々	松永周二	漁・2	168	63	大牟田北	(福岡)
々	松下麦	経・2	165	57	筑紫丘	(福岡)
々	田卷正	増・2	168	60	甲南	(鹿児島)
々	宮田淳	漁・2	163	60	墨田川	(東京)
々		増・2	163	60	門司東	(福岡)

出 漕 ク ル ー

神 戸 商 船 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校 (県)
顧問	杉 浦 昭 典				
艇指揮	◎ 奥 村 宗 行	N・4	165	65	天 王 寺 高 (大 阪)
艇長	高 原 誠 行	E・4	162	59	天 王 寺 高 (大 阪)
1	佐 藤 和 勲	E・3	160	60	松 林 高 (福 岡)
2	美 藤 和 勲	E・3	160	60	富 田 高 (大 阪)
3	洪 谷 亜 男	E・3	162	58	大 森 高 (東 京)
4	矢 野 亜 紀 夫	E・3	171	65	大 星 陵 高 (兵 庫)
5	立 屋 敷 靖 夫	N・3	171	56	豊 中 高 (大 阪)
6	安 藤 雅 夫	N・2	175	65	三 池 高 (福 岡)
7	鈴 木 三 郎	E・3	169	60	夕 陽 丘 高 (大 阪)
8	齊 藤 興 紀	N・3	165	67	天 王 寺 高 (大 阪)
9	堀 田 時 彦	E・2	180	76	仙 台 高 (宮 城)
10	樋 口 享 弘	N・3	169	68	港 原 高 (大 阪)
11	飯 田 恒 雄	N・2	173	65	保 原 高 (福 島)
12	大 崎 修 司	N・3	170	65	豊 中 高 (大 阪)
補	鈴 木 誠 熹	E・3	170	65	半 田 高 (愛 知)
〃	加 藤 計 太 郎	E・3	166	65	勝 所 高 (滋 賀)
〃	永 戸 圭 介	N・2	175	63	寝 屋 川 高 (大 阪)
〃	高 杉 喜 雄	N・2	173	67	桃 山 高 (京 都)
〃	◎ 根 来 孝 行	E・2	160	60	岡 山 朝 日 高 (岡 山)
		N・4	163	60	岸 和 田 高 (大 阪)

水 産 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校 (県)
顧問	橋 本 市 雄				
艇指揮	橋 本 信 郎	増・3	163	60	下 関 西 高 (山 口)
艇長	入 尾 一 美	漁・3	169	62	八 幡 中 央 高 (福 岡)
1	◎ 福 田 得 志	漁・2	163	62	田 川 高 (福 岡)
2	関 健 二	漁・3	165	61	高 瀬 高 (香 川)
3	景 山 光 昭	機・2	167	71	安 房 第 一 高 (千 葉)
4	小 林 昭	漁・2	173	68	長 岡 高 (新 潟)
5	小 久 保 英 夫	漁・2	174	73	川 越 高 (埼 玉)
6	重 本 忠 尚	漁・2	171	70	可 部 高 (広 島)
7	藤 井 忠 尚	漁・3	171	74	葦 陽 高 (大 阪)
8	水 橋 慶 雄	漁・3	176	76	桜 宮 高 (大 阪)
9	平 井 靖 明	機・2	174	71	斐 太 高 (岐 阜)
10	船 津 良 二	漁・2	170	71	金 光 学 園 高 (岡 山)
11	清 岡 向 豊	製・2	169	65	小 倉 高 (福 岡)
12	朝 日 武 彦	機・2	170	63	安 芸 高 (高 知)
補	〃 鍋 武 彦	製・2	171	60	戸 畑 中 央 高 (福 岡)
〃	◎ 金 崎 昭 彦	製・2	163	55	西 中 条 高 (福 媛)
〃	〃 古 川 健	漁・4	167	52	戸 畑 中 央 高 (福 岡)
〃	〃	漁・3	169	65	彦 根 東 高 (滋 賀)

出 漕 ク ル ー

東 京 商 船 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧 問	中 島 保 司					
艇指揮	東 野 晴 二	N・4	160	55	旭 川 西	高 (北海道)
艇長	飯 野 賢 輔	E・3	168	58	広 尾	高 (東 京)
1	金 峰 雄	N・2	173	65	芝	高 (東 京)
2	大 石 義 朗	N・4	169	64	森	高 (北海道)
3	飯 塚 堯 久	N・3	172	63	広 尾	高 (東 京)
4	斉 田 文 雄	N・2	167	65	広 尾	高 (東 京)
5	福 留 德 昭	E・2	174	72	安 芸	高 (高 知)
6	原 田 深 二 郎	N・3	167	63	小 柄 倉 木	高 (福 岡)
7	佐 藤 克 弘	N・4	172	71	九 段	高 (栃 木)
8	大 坪 広 幸	E・3	171	68	多 摩	高 (東 京)
9	大 島 田 忠 雄	N・3	158	62	豊 多 摩	高 (東 京)
10	斉 藤 徹 郎	N・2	168	66	千 歳	高 (東 京)
11	◎ 吉 田 雅 典	E・4	170	65	奈 良	高 (奈 良)
12	橋 本 研 太 郎	N・3	170	63	吳 三 津 田	高 (広 島)
補	佐 藤 勝 二 郎	E・3	170	60	大 海 泉 城	高 (東 京)
〃	岡 上 忠 之	E・2	168	61	海 福 岡	高 (東 京)
〃	井 原 建 之	N・2	170	58	福 岡	高 (福 岡)
〃	河 原 嘉 之	N・2	178	69	小 田 原	高 (神 奈 川)
〃	◎ 永 塚 嘉 之	E・4	163	62	武 蔵 ヶ 丘	高 (東 京)

東 京 水 産 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧 問	佐々木 幸 康					
艇指揮	成 広 泰 信	漁・4	176	65	姫 路 西	高 (兵 庫)
艇長	一 色 照 太	漁・4	163	62	今 治 西	高 (愛 媛)
1	萩 原 紘 史	漁・2	168	62	野 沢 北	高 (長 野)
2	紫 田 洋	増・3	167	64	鞍 手	高 (福 岡)
3	今 井 正 直	漁・2	171	73	富 岡	高 (群 馬)
4	石 部 透	漁・2	171	70	国 泰 寺	高 (広 島)
5	松 田 謙 一 郎	漁・3	172	68	文 京	高 (東 京)
6	田 村 芳 樹	漁・3	172	66	藤 所	高 (滋 賀)
7	山 川 紘 治	増・3	175	73	朱 雀	高 (京 都)
8	岩 崎 考 治	漁・3	180	72	川 崎	高 (神 奈 川)
9	大 矢 雅 道	漁・2	167	68	成 東	高 (千 葉)
10	田 部 井 伸 郎	漁・3	168	64	石 神 井	高 (東 京)
11	石 井 丸 久	漁・3	167	64	千 葉 一	高 (千 葉)
12	◎ 藤 田 繁 昌	漁・3	168	62	八 尾	高 (大 阪)
補	◎ 鶴 岡 井 辰 夫	漁・4	174	65	長 生 一	高 (千 葉)
〃	酒 岡 謙	漁・4	172	67	豊 津	高 (福 岡)
〃	平 岡 修	漁・4	172	70	熊 本	高 (熊 本)
〃	◎ 鈴 木 充	漁・4	170	60	中 津 北	高 (大 分)

出 漕 ク ル 一

長 崎 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧問	麻 生 幸 則					
艇指揮	中 村 圭 陽	漁・3	160	57	防 府 高	(山 口)
艇長	是 石 圭 一	漁・3	174	58	中 津 南 高	(大 分)
1	岩 佐 徹	漁・3	163	65	市 岡 高	(大 阪)
2	田 辺 庄 太	漁・3	170	60	甲 南 高	(鹿 児 島)
3	内 梨 千 年	漁・3	165	63	鶴 見 ケ 丘 高	(大 分)
4	藤 本 展 敏	漁・3	167	60	八 幡 高	(福 岡)
5	古 大 寺 善 照	漁・3	171	66	東 西 南 筑 院 高	(福 岡)
6	◎ 塚 田 啓 良	漁・3	168	65	岸 和 田 高	(大 阪)
8	伊 豫 田 隼 人	漁・3	165	62	愛 光 学 園 高	(愛 媛)
9	米 倉 照 光	漁・2	170	67	明 善 高	(福 岡)
10	林 幹 郎	漁・2	163	60	枕 崎 高	(鹿 児 島)
11	加 来 洋 志	漁・3	165	55	豊 津 高	(福 岡)
12	林 克 也	漁・3	165	60	伏 見 高	(京 都)
補	大 久 保 武 玄	漁・3	168	55	福 岡 中 央 高	(福 岡)
々	尾 昭 信	漁・2	174	65	野 田 高	(山 口)
々	○ 田 辺 隆 久	漁・3	165	55	小 若 松 高	(福 岡)

日 本 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧問	添 田 秀 男					
艇指揮	◎ 横 地 龍 男	漁・4	169	58	日 大 三 高	(東 京)
艇長	会 田 晴	漁・4	158	52	日 大 鶴 ケ 丘 高	(東 京)
1	三 鬼 哲	漁・2	162	62	尾 鷲 高	(出 三 重)
2	安 芥 朝 英	増・2	163	57	農 大 一 高	(神 奈 川)
3	中 島 朝 夫	製・2	172	58	日 大 一 高	(東 京)
4	小 網 邦 生	増・2	165	65	聖 学 院 高	(東 京)
5	三 三 侯 孝 俊	製・3	172	70	二 松 学 舎 高	(東 京)
6	長 岡 俊 彦	製・3	180	73	日 大 鶴 ケ 丘 高	(東 京)
7	西 尾 有 志	製・2	173	70	日 大 一 高	(東 京)
8	加 藤 洋	製・3	167	59	厚 岸 水 高	(北 海 道)
9	岸 田 多 雅	製・3	165	60	世 田 水 谷 高	(東 京)
10	中 村 篤 松	漁・2	163	60	厚 岸 水 高	(北 海 道)
11	○ 中 西 征 太 郎	漁・3	170	59	安 房 水 高	(千 葉)
12	長 谷 光 司	製・3	170	56	糟 谷 橋 高	(愛 知)
補	新 谷 盛 朗	漁・4	174	74	竹 台 高	(東 京)
々	丸 山 正 謙	漁・2	165	54	胡 差 高	(冲 縄)
々	儘 田 正 義	漁・2	162	54	城 西 高	(埼 玉)
々	吉 来 田 津 彦	漁・2	162	54	正 野 高	(東 京)
々			162	58	野 田 高	(千 葉)

出 漕 ク ル

防 衛 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (県)
顧問	八 卷 梯 次				
艇指揮長	◎ 永 尾 泰 信	海・応物 4	168	63	久留米大付属高(福岡)
艇長	大 堀 謙 次	航・電気 4	160	60	秦野高(神奈川)
1	大 瀬 良 作	海・電気 3	172	72	築上中部高(福岡)
2	田 田 昭 信	海・応物 4	165	63	下関西高(山口)
3	吉 田 時 信	陸・応物 3	171	68	島原高(長崎)
4	末 延 猛	航・航工 4	173	65	築上中部高(福岡)
5	山 口 弘 治	海・航空 4	173	69	秦野高(神奈川)
6	守 勝 夫	海・機械 4	172	66	仙台二前高(宮城)
7	梶 邦 道	海・航空 4	172	70	仙台大二高(香川)
8	朝 倉 靖 武	航・航工 3	164	65	大仙台二高(宮城)
9	栗 原 靖 武	陸・機械 4	168	69	平塚江南高(神奈川)
10	宮 木 隼 二	海・航工 3	171	65	石神井高(東京)
11	平 田 清 勝	海・電気 4	171	64	北見柏陽高(北海道)
12	香 川 武 芳	海・航工 3	165	66	丸亀高(香川)
補	長 坂 正 俊	海・機械 3	164	62	土浦一高(茨城)
々	藤 田 幸 生	海・電気 3	160	58	高知高(高知)
々	長 谷 林 秀 樹	海・電気 2	165	63	高藤倉敷高(岡山)
々	小 村 勝 彦	海・応物 2	170	61	倉敷青陵高(岡山)
々	中 西 道 昌	海・航工 2	157	61	土佐良高(高知)
々	◎ 古 沢 忠 彦	海・航工 2	165	63	奈良高(奈良)
々	○ 古 沢 忠 彦	海・電気 4	165	57	熊本高(熊本)

三 重 県 立 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校 (県)
顧問	細 川 鉄 男				
艇指揮長	鳥 田 豊 司	漁・3	168	58	池田水産高(大阪)
艇長	戸 田 政 司	増・3	166	54	焼津市南高(静岡)
1	渡 辺 恭 章	2	165	56	新日市南高(愛知)
2	吉 村 俊 一	2	167	54	四日市南高(三重)
3	森 島 健 洋	増・3	176	65	伊勢台高(三重)
4	牧 浩 洋	漁・3	166	63	桜津台高(愛知)
5	田 中 祥 治	2	174	70	津松名古西高(三重)
6	赤 山 田 宣 昭	製・3	171	70	阪屋西高(愛知)
7	山 田 陸 正	漁・3	175	65	高津戸高(大阪)
8	小 伊 藤 和 夫	漁・3	173	65	高神津高(三重)
9	伊 藤 洋 治	漁・3	177	74	神城南高(徳島)
10	○ 秦 田 島 克 己	漁・3	172	67	海星高(三重)
11	田 村 成 康	漁・3	168	60	城南南勢高(三重)
12	◎ 村 田 倭 夫	漁・3	165	60	南津高(三重)
補	庄 山 塚 武	2	165	56	津高(三重)
々	赤 川 伊 秀 夫	2	173	60	津高(三重)
々	川 口 秀 夫	2	160	54	名張高(三重)

出 漕 ク ル ー

海 上 保 安 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 高 校	(県)
顧 問	大 山 雅 清					
艇指揮◎	赤 星 珪 一	N・3	173	63	朱 雀 高	(京 都)
艇 長	石 田 米 治	E・3	172	62	糸 魚 川 高	(新 潟)
1	森 征 四 郎	・2	167	65	紫 野 高	(京 都)
2	日 高 三 郎	E・3	162	60	紫 鶴 丸 高	(鹿 児 島)
3	後 藤 光 征	・2	164	64	秋 田 高	(秋 田)
4	北 岡 洋 志	・2	163	60	角 田 高	(宮 城)
5	友 永 幸 讓	・2	175	63	昭 和 高	(東 京)
6	小 毛 利 建 夫	・2	172	64	墨 田 川 高	(東 京)
7	伊 藤 俊 輔	N・3	167	68	藤 島 高	(福 井)
8	伊 藤 晋 平	・2	170	63	海 城 高	(東 京)
9	藤 原 英 昭	・2	168	64	北 見 柏 陽 高	(北 海 道)
10	管 野 建 夫	・2	167	66	北 東 北 学 院 高	(宮 城)
11	金 山 義 信	・2	167	66	高 岡 高	(富 山)
12	牧 野 豊	・2	164	63	天 王 寺 高	(大 阪)
補	熊 谷 幸 男	・2	164	60	德 山 高	(山 口)
々	菊 地 繁	・2	167	60	北 園 高	(東 京)
々	芥 藤 宏	・1	164	61	修 献 館 高	(福 岡)
々	清 水 日 出 吉	・1	172	70	須 坂 西 高	(長 野)
々	○ 齊 藤 弘 昭	・2	166	59	札 幌 東 高	(北 海 道)

いつも フレッシュなタッチ

Sailor

便利で書きよいカートリッジ式

カートリッジ式セーラーデラックスは、インキ出がとて
もスムーズ…いつもフレッシュな気分で文字が書けます



新発売!
特許第211314号

セーラーデラックス

カートリッジ式 予 400より
カートリッジ(替インキ)6本入 予30

広島市宝町324

セーラー万年筆広島販売株式会社

TEL ④ 0 1 6 5

審 判 規 則

1. 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
2. スタート
 1. 各艇は指定の時刻コース順に従いスタートラインに整列する。
 2. 5分前をマイクにより通達、スタートブイにつく、ブイに着き用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する。
 3. スタート用意：号笛短声連続、手旗2原廻、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 4. スタート：頭上の手旗を垂直に振下すと同時に号砲を打つ。
3. 審判長、審判員がスタートを不完全と認めた時は直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。
諸信号、審判艇コース横断
4. スタートに於ける号令前の飛出し、及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
5. 回頭は左回頭（反時計回り）とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合、及び回頭旗に艇又はオールの一部でも接触した場合は失格である。
6. ゴール
艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし、順序は審判員が判定する。
7. 同着の場合は追込艇の勝とする。
8. ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
9. 各艇は自己のコースを航行し、もしこれを誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の認められたときは失格とする。
10. レース中のコースに於ける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自からこれを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでない時もある。
11. レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
12. オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
13. 補欠は2名以内自由に交替できる。
14. オールは流したままゴールインしても差支えない。

レ ー ス の 手 引

本大会に使用される艇は外板鋸張で長さ9m12人漕のカッターである。カッターとは一般の救命艇、(艇首尾同型)と異り、艇を切落した形になっているのでこの称がある。マストを立て、帆走することも出来るようになってい

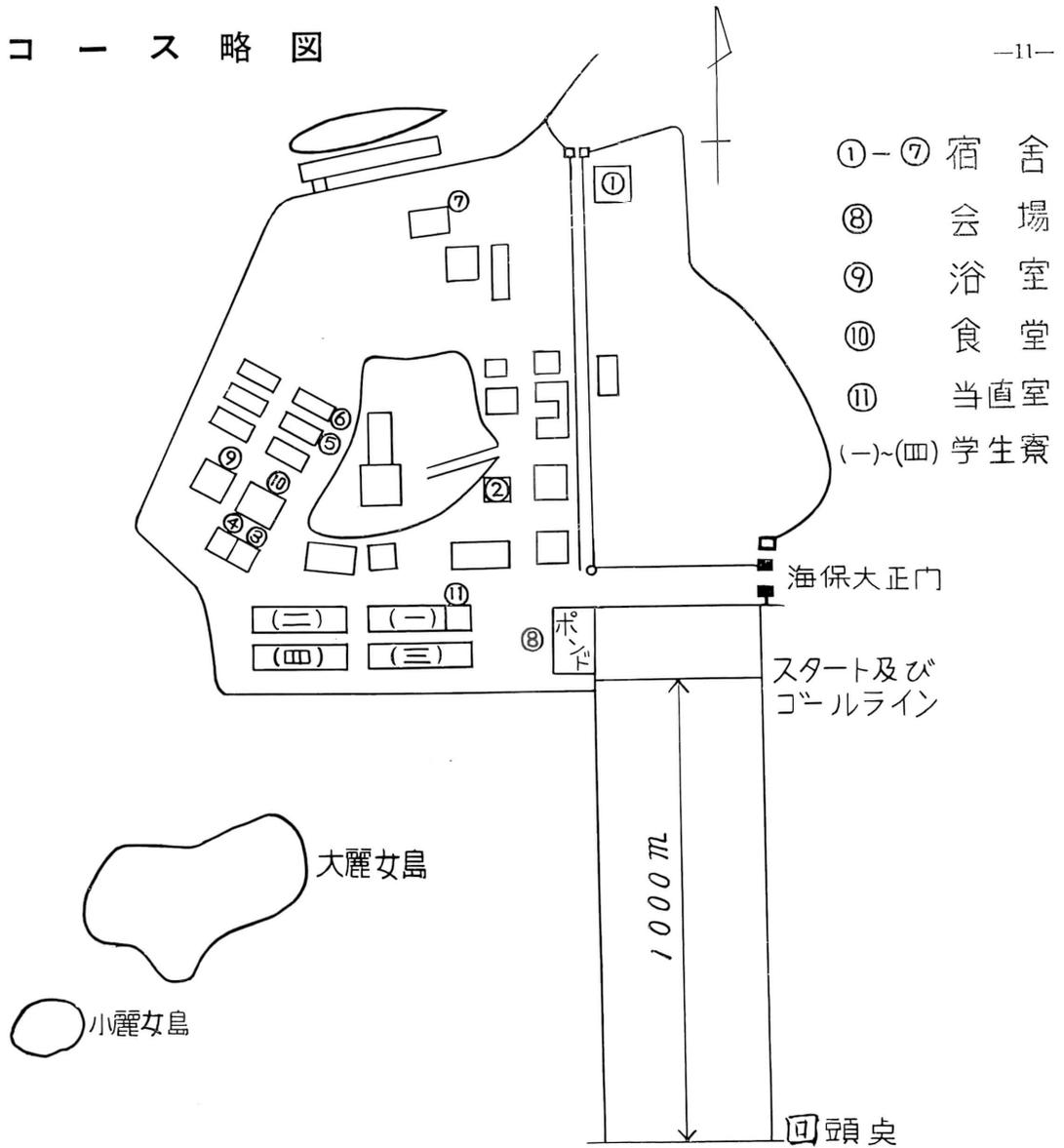
る。艇を操作しているものをクルーと称し、その名称は右舷(艇尾より艇首に向って右側)の最も艇首に近い者が1番、左舷の最も艇首に近い者が2番(この二人をBowmenという)、以下右左舷交互に3,4,……11,12番まである。11,12番を特にStrokemenと呼び橈漕の場合この2人が基準となる。艇尾で舵を握っているのが艇長であり艇の指揮号令を掌っているのが艇指揮である。即ち艇指揮がその艇の全ての指揮を司る。

スタートは各艇の艇首が一直線上に並んだとき、手旗号笛、号砲の信号を以って行。レース距離は往復2000mであって、スタートラインより1000mの所に、各コース毎に回頭旗が立てられており、各艇はこれを左回り(反時計回り)に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインとなる訳である。ゴールは艇

首がゴールラインに達した時とする。ピッチ即ち1分間に漕ぐ回数は大体30前後であり、レース所要時間は10分余である即ち5~6ノットの速度となる。

カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致していることを要する。レースの見所は、ピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等特に注目すべき点であるがその他、クルーの糸乱れぬ一挙一投足に他の競技には見られぬよきがある。カッターレースは実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。





信用と技術を
誇る

オール・樁・舵
並ニ木工製品 製作
船具類

諸官衙会社
諸学校
各造船所
納品

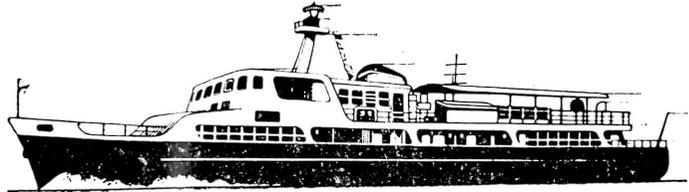
高松令三商店

電話 呉 ② 3101 番
呉市海岸通三丁目六五ノ三
工場 呉市海岸通三丁目五一
呉市海岸通三丁目六五ノ五

時刻	種目	コース	大 学 名	着 順	タ イ ム
0900	開 会 式				
1000	予選第1レース	4	東 水	1	11' 40" 0
		5	水 大	3	12' 01" 9
		2	防 大	2	11' 56" 3
		3	日 大	4	12' 48" 4
1030	予選第2レース	4	東 船	2	13' 44" 4
		5	神 船	1	11' 42" 0
		2	海 大	4	13' 11" 9
		3	鹿 大	3	12' 33" 1
1100	予選第3レース	3	長 大	3	13' 43" 0
		3	三 大	2	12' 59" 7
		4	海 保	1	12' 19" 7
1130~ 1230	昼 食 休 憩				
1300	敗者復活レース	2	⑤ 防 大	2	11' 41" 1
		4	三 大	1	11' 39" 3
		3	⑥ 東 船	4	11' 45" 0
		5	⑦ 水 大	3	11' 45" 7
1330	順位決定レース	4	⑨ 日 大	2	12' 24" 3
		2	⑩ 鹿 大	3	12' 30" 2
		5	⑪ 海 大	4	13' 15" 5
		3	⑧ 長 大	1	12' 14" 1
1400	決勝レース	1	④ 三 大	4	12' 13" 5
		3	③ 神 船	3	12' 06" 6
		4	① 東 水	1	11' 31" 1
		2	② 海 大	2	11' 33" 3
1500	閉 会 式				

内海の心臓部をゆく

呉—広島—宮島—別府	定期航路	25航路
広島—呉—松山	所有船舶	40隻
尾道—瀬戸田—今治	貸切船	内海全域
尾道—鞆—多度津など		



瀬戸内海汽船

本社 広島市宇品町 電(代表) ④5291
 支社・出張所 尾道・今治・呉・松山・別府・因島・江田島 東京

酒 王



三宅本店醸



三菱造船株式會社
廣島造船所